

日本体育測定評価学会 平成 30 年度 第 1 回理事会 議事録

日 時：平成 30 年 6 月 9 日（土曜日） 13:55～15:50

場 所：霞が関コモンゲート西館 37 階 愛知大学 東京霞が関オフィス（旧東京事務所）

出席者：稲垣（会長）、村瀬、武藤（副会長）、池上（監事）、

長澤（理事長）、山次（副理事長）、石原、大藏、國土、北林、小林、坂井、佐藤^敏、鈴木、

中田^由、中谷、中田^征、萩、林、松浦、宮口、山田、涌井(理事)

書面出席者：太田(副会長)、酒井(監事)、佐藤^進(副理事長)、木塚、高橋、田中(理事)

欠席者：なし

<定足数の確認>

議長（長澤理事長）が出席者(23名)と書面出席者(6名)による委任状の合計が定足数を満たしていることを報告し、開会を宣言した。

<会長挨拶>

稲垣会長より、開会の挨拶があった。

<議事録署名人の選出>

議長が議事録署名人に佐藤^敏理事と鈴木理事を指名したい旨を発言し、一同に承認された。

議 題：

I. 協議事項

1. 平成 29 年度会計決算報告書(案)について、中田^征庶務委員長より、資料 A-1 および A-2 に基づき説明があり、続いて池上監事より会計書類を監査した結果、適正に処理されていることを確認したとの報告があった。審議の結果、原案が承認された。
2. 日本体育測定評価学会第 17 回大会収支報告書(案)について、学会大会事務局担当の村瀬副会長より資料 A-3 に基づき説明があり、審議の結果、原案が承認された。
3. 会計決算報告書等の改定(案)について、長澤理事長より、前回理事会における太田副会長からの提案に基づき説明があった。これに対し、武藤副会長より従来の様式の形式の方が会計作業は容易等の意見が出された。これらを踏まえた審議の結果、平成 31 年度より中間および年度会計決算報告書は、会計報告(資料 A-1)の形式に合わせて作成することが承認された。
4. 平成 30 年度研究助成申請書の審査結果(案)について、大藏研究推進・研究助成委員長より当日配付資料 F-1 および F-2 に基づき今年度は 2 件の申請があり、審査の結果 2 件(35 万円)を採択したい旨の説明があり、審議の結果、原案が承認された。
5. 平成 29 年度研究助成報告書の審査結果(案)について、大藏研究推進・研究助成委員長より当日配付資料 F-1, F-3, および F-4 に基づき説明があり、審議の結果、原案が承認された。
6. 日本体育学会第 69 回大会測定評価専門領域企画(座長等)について、山次副理事長より資料 B-1

に基づき大会プログラム、ポスター発表形式、発表演題数、また、シンポジウム担当の鈴木理事より、中国人ゲストスピーカーである Yanfeng ZHANG 氏の学会からのインビテーションレターの発行、ゲストに対して謝礼のみ支払うとの説明があり、審議の結果、原案が承認された。

7. 日本体育測定評価学会第 18 回大会について、中谷学会大会副委員長より資料 B-2 に基づき説明があり、日本体育測定評価学会第 18 回大会の事務局を担当される小林理事より、大会前日の理事会および大会当日の日程や会場等の説明、今後の予定の一部訂正があった。審議の結果、小林理事が提案された資料 B-1 のスケジュールで進めていくことで賛同が得られ、原案が承認された。
8. 学会投稿規定の改訂について、中田_田編集副委員長より資料 C-1 および C-2 に基づき、投稿規定における倫理に関する記述を加筆するとの説明があり、この件に関して、以下の質疑があった。

山次副理事長より、資料 C-2 の「12.4」の記述をもって、倫理的な配慮がなされていると判断し、倫理委員会での承認を得ていない研究であっても学会誌に受理しても良いのではないかとの意見が出された。これに対し、中田_田編集副委員長より既存のデータを用いた研究の場合には本学会の倫理委員会で事後審査を行うことで対処する方法が提案された。

国土倫理委員長より、本学会の倫理委員会は「健康・スポーツ科学領域におけるヒトを対象とした研究」の審査を行うことが主たる目的であり、「人を対象とする医学系研究」は対象ではないとの認識が報告され、確認された。さらに、投稿時の自由度を優先し、投稿された論文自体は原則受理して審査手続きを進め、倫理委員会での承認を得ていない論文の査読を行う際には、査読者が倫理審査の必要性を判断した上で、必要に応じて学会の倫理委員会での審査の要請を可能とする内規の作成が提案された。

石原理事より、既存のデータを用いた研究に関する情報を公開する必要性について質問がなされた。また、稲垣会長より、資料 C-2 の「12.6」の記述を期限付きで投稿規定に明記する提案がなされた。これに対し、山次副理事長より明記することで論文の投稿数が減少してしまう可能性が指摘された。以上の質疑を踏まえ、長澤理事長より本件を継続審議とし、編集委員会、場合によっては倫理委員会、将来検討委員会にて再度検討した上で理事会もしくは E 理事会に再度提案することが了承された。
9. 選挙による次期理事選出について、はじめに北林選挙管理委員長より、資料 E-1 に基づき次期理事選挙の開票結果の報告があった。続いて、長澤理事長より、選挙による 7 名の次期理事選出に関しては、得票数が 4 票までの候補者を対象として就任の確認を行い、辞退者が出て 7 名に満たなかった場合、それ以下の順位の候補者は得票数が少ないため繰り上げず、次期会長による会長推薦理事で補充する提案がなされ、審議の結果、承認された。
10. 候補者選考委員会の構成について、長澤理事長より、候補者選考委員会の規定に従い、会長、副会長(2名)、理事長、副理事長(2名)の 7 名で候補者選考委員会を構成し、次期会長、副会長、および監事を選考する提案がなされ、審議の結果、承認された。

II. 報告事項

1. 学会事務局報告

- 1) 稲垣学会事務局長より、会員数（6月8日現在：285名）について報告があった。また、長澤理事長より、田中理事の所属変更について報告があった。
- 2) 稲垣学会事務局長より、日本体育学会関係（平成29年次活動報告など）について報告があった。
- 3) 稲垣学会事務局長より、「2018年度笹川スポーツ研究助成案内」について、学会ホームページに掲載されていることの報告があった。
- 4) ICSEMIS 運営委員会準備会議への参加について、稲垣会長より、次期 ICSEMIS の開催第一候補地として横浜市、第二候補地として名古屋市が選定されたとの報告があった。また、今回の準備会議へは、関東地区の大学に勤務する理事の中から代表者が参加して欲しい旨依頼された。

2. 各委員会報告

- 1) 庶務委員会：報告なし
- 2) 編集委員会：中田副委員長より、資料 C-1 および C-3 に基づき、論文審査状況、英文機関誌アクセス件数、和文機関誌発行、第 17 回大会「優秀発表」選考結果、和文・英文機関誌の Web 公開作業状況などについて報告があった。
- 3) 学会大会委員会：山次副委員長より、資料 B-1 および B-2 に基づき、日本体育学会第 69 回大会の日程・大会スケジュール・専門領域企画・発表演題について報告があった。口頭発表(21 演題)は初日の午前に 1 セッション、午後に 4 セッション、1 セッション当り 4 演題で発表 7 分、質疑応答 3 分とすること、また、ポスター発表(46 演題)は、使用会場の都合により二日目の午後に設定し、掲示開始から撤収までの時間が 90 分であることを考慮して、すべての演題を 60 分間のフリーディスカッションとするとの説明があった。また、宮口委員長より、日本体育測定評価学会第 18 回大会日程について報告があった。小林学会大会事務局長より、特に大会でのシンポジウムの進捗状況について報告があった。
- 4) 研究推進委員会・研究助成委員会：大蔵委員長より、当日配付資料 F-1 および F-5 に基づき、平成 29 年度研究助成報告義務への対応を依頼したこと、また、体育・スポーツ科学情報コラムの原稿(案)について報告があった。コラムの原稿(案)については、加筆・修正等の意見があれば、6 月末日までに大蔵委員長宛に連絡するよう説明がなされた。
- 5) 渉外委員会：報告なし
- 6) ホームページ管理委員会：報告なし
- 7) 将来検討委員会：山次委員長より、資料 D-1, D-2, D-3 および D-4 に基づき、日本体育学会第 69 回大会シンポジウム、統計・測定評価セミナー、統計相談コーナーのアンケート調査について報告があった。また、日本体育学会第 69 回大会時に専門誌購入を希望した者 10 名に連絡を行い、2 名が購入に至ったとの報告があった。さらに、日本体育学会第 69 回大会における統計相談員、優秀発表審査における協力が依頼された。
- 8) 倫理委員会：国土委員長より、前回理事会以降、倫理審査の申請はない事が報告された。

9) 選挙管理委員会：報告なし

3. その他

1) 長澤理事長より、日本スポーツ体育健康科学学術連合平成 30 年度総会〔6 月 16 日(土)、11:00～12:00〕、日本体育学会定時社員総会〔6 月 16 日(土)、13:30～15:30〕の日程等について報告があった。

2) 稲垣会長より、学長補佐の活動に関して進捗状況の報告要請があった。これに対し、中谷理事より、竹井機器との間で行われた学会認定機器開発等の商談内容について報告があった。また、小林理事より、暫定的に学会による資格認定に向けた検討に関して、資格取得に向けた研修内容が工学系の専門知識が必要になることから、学会の認定する資格としての妥当性について検討が必要である旨報告があった。

[事前配布資料]

- 資料 A-1 平成 29 年度日本体育測定評価学会会計報告
- 資料 A-2 平成 29 年度日本体育測定評価学会会計決算報告書
- 資料 A-3 日本体育測定評価学会第 17 回大会収支報告書
- 資料 A-4 庶務委員会資料
- 資料 B-1 日本体育学会第 69 回大会測定評価専門領域企画資料
- 資料 B-2 日本体育測定評価学会第 18 回大会資料
- 資料 C-1, 3 編集委員会資料
- 資料 C-2 投稿規定
- 資料 D-1~4 将来検討委員会資料
- 資料 E 選挙管理委員会資料

[当日配布資料]

- 資料 F-1 研究推進・助成委員会資料
- 資料 F-2 H30 年度研究助成審査結果一覧表(案)
- 資料 F-3 H29 年度研究助成報告書審査結果一覧表(案)
- 資料 F-4 平成 29 年度研究助成報告書および収支報告書の審査結果報告(案)
- 資料 F-5 研究推進・助成委員会資料

以上で、議事を終了し、以って散会とした。

この議事録が適正に作成されていることを認めます。

議事録承認 平成 30 年 6 月 22 日

議事録署名人 佐藤 敏郎 ⑩

議事録署名人 鈴木 宏哉 ⑩

議 長 長澤 吉則 ⑩

以上

[※平成25年度第1回理事会議事録から、学会ホームページ公表用議事録には議事録署名人および議長の直筆署名と印は示さず、署名捺印された書類は学会事務局で保管することになりました。]